

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の
資質向上に努めて参ります。

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1)理念や基本方針が職員に周知されているか		○			・定期的に一円対話をし、各々の『見守る保育』を見つめなおし話し合う機会を設け、職員全員が基本方針を理解できるように取り組んでいる。 ・保護者にはホームページや、園だより等で園での活動を随時知らせている。
	(2)理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3)理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4)一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育・保育の計画	(1)社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			・乳児期における愛着形成と、安心した生活を送り情緒の安定を図る。発達の過程をよく理解し、一人一人に合った保育を行っている。 ・友達との関わりを楽しみ、意欲を持って何事にも挑戦できる環境作りを行っている。
	(2)指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3)子どもの生活が豊かになるよう行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1)子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか		○			・研修等に積極的に参加し、より子どもたちを深く理解出来るよう、積極的に学び、知識を養う。保護者との信頼関係の構築に努める。 ・毎朝、保護者との会話や、送られてくる家庭での様子を確認する事で、一人一人の状態に寄り添った保育が出来るように心掛けている。子どもの発達段階を理解、把握し個々に合った保育を展開する事で、意欲的に生活できるような環境を常に見直しを図る。 ・食事については砺波給食と毎月給食会議を実施し、内容の改善を図る。また野菜栽培、収穫を通して食の大切さ、保護者合同のクッキング等を実施し、食の楽しさを伝えていくようにしている。
	(2)子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3)子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4)子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5)子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6)子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7)健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8)子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育てていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか	○				
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			・今年度はコロナの影響で行事等が減少してしまいましたが、なるべくお迎え時やおたより帳を通して保護者との連絡を密に行うようにしている。また、園だより、クラスだより、ホームページ等を使い、随時園での様子を発信している。
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育・保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか		○			・看護師の業務内容の見直し、より丁寧、こまめな消毒の徹底や換気を行い、感染症の感染予防に努めている。感染症が発生した場合、メールや玄関掲示で速やかに保護者へ伝えている。 ・園内研修で看護師による保健指導を行い、全職員で共通理解し、対応している。 ・アレルギー児には、保護者、担任、看護師が聞き取りを行い、医師の指示に従って栄養士と連携を図りながら対応している。 ・安全管理、危機管理のマニュアルに沿って行っている。過去のヒヤリハット等も検討し、マニュアルの改善や見直しも行っている。 ・コロナ禍による研修の中止やリモートへの変更などが多かったが、オンライン研修になることでより多くの職員が研修を受け、園の教育保育について振り返り、改善を考えるなど、多くの学びに繋がった。 ・保育教諭により個人差もあるので、職員会議やフロア会議を通して、情報の共有や、教育保育内容の充実や質の向上へ繋げていきたい。 ・守秘義務や個人情報の保護に関して、日々職員へ遵守を呼びかけ、共通理解を図っている。 ・意見・要望箱を設置し保護者が園への要望を出しやすいようにしている。寄せられた要望や苦情に関しても素早く対応し、説明するように務めている。今後も職員間での情報共有をしっかりと行い、常に業務改善に取り組んでいく。
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか		○			
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			